

# 英語高度専門職業人コース

English Professionals Training Course

英語高度専門職業人コースでは、異文化に精通し、英語に堪能であり、かつ、国際的視野に立って地域に貢献する人材を養成することを目指しています。授業科目には、英語圏の文化や歴史を学ぶ科目、英語教育および第二言語習得関連科目、翻訳・通訳の実技演習、英語母語話者による「英語表現演習」などがあり、学生の目的に応じた多様なカリキュラムを構築することができます。新卒の学生に加え、社会人リカレント教育の一環として、在職のまま就学する社会人や中等教育機関の英語教員も積極的に受け入れています。

## 【授業科目】(一部のみ)

- 国際多元文化特殊講義 I~III ●国際多元文化演習 ●eラーニング技術演習
- 言語科学演習 ●翻訳技術演習 I~II ●通訳技術演習 ●英語表現演習 I~IV

## 【コース ホームページ】

<http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/kosenjin/>

### 教員と専門領域・研究テーマ

#### 長畑明利 教授

アメリカ文学・文化 / 20世紀アメリカ詩 / 多文化社会の表象

#### 尾関修治 教授

英語教育 / コンピュータとネットを利用した教育法の開発

#### 村主幸一 教授

シェイクスピア / 西洋演劇 / パフォーマンス研究

#### 松岡光治 教授

19世紀イギリス文学 / ヴィクトリア朝文化史 / ハイパーテキスト

#### 上原早苗 教授

19世紀イギリス文学 / ヴィクトリア朝文化 / 出版・検閲制度

#### 村尾玲美 准教授

第二言語習得論 / 音声言語認識メカニズムの解明

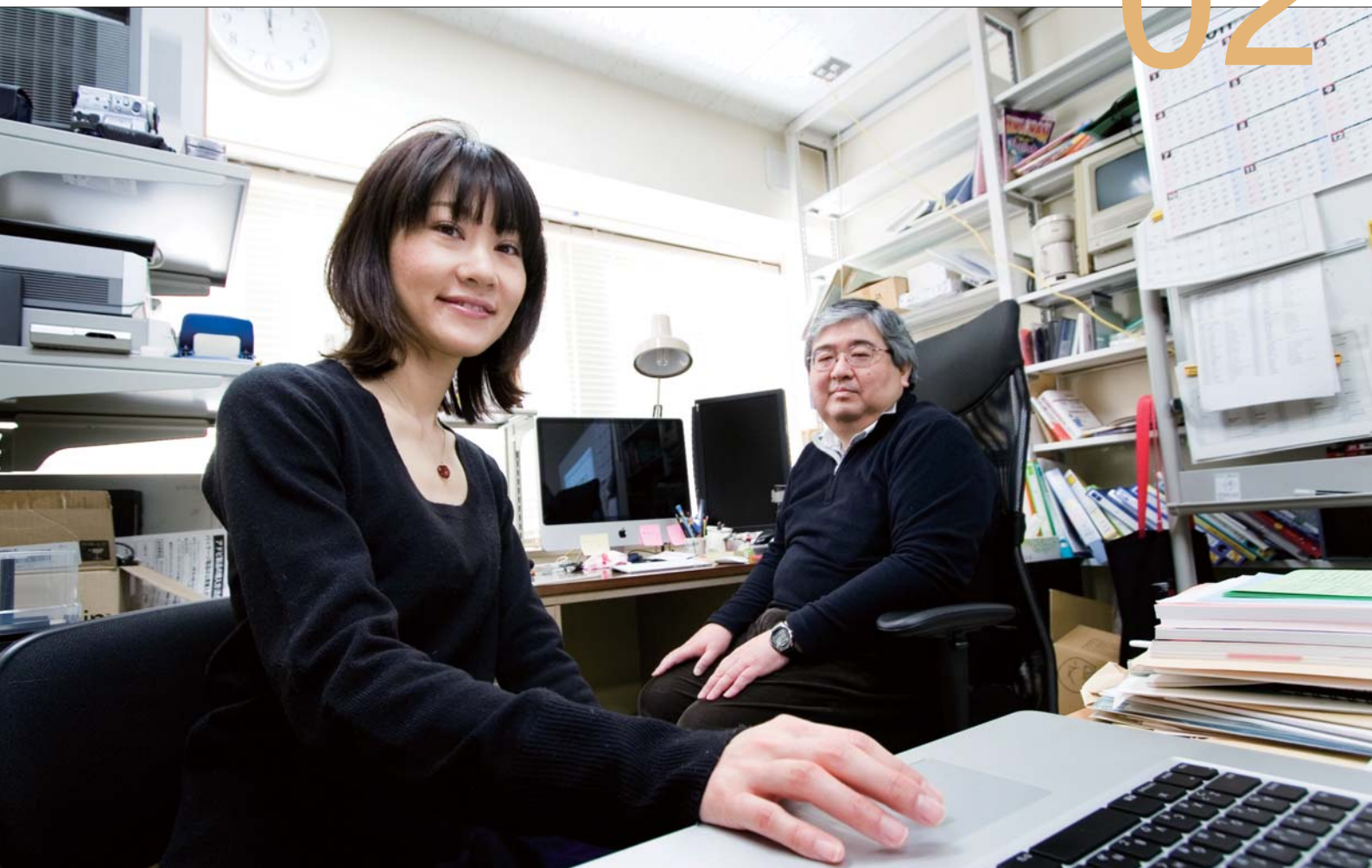
## ◎英語教員のリカレント教育

中等教育機関の英語教員を積極的に受け入れています。「大学を卒業してから8年間、公立高校の英語教員として働いていた私は、忙しいながらも充実した毎日にもかかわらず、何かが足りないような感覚にとらわれていました。そして昨年、それが何であるのかもよくわからないまま、名古屋大学大学院国際言語文化研究科に飛び込んだのです。大学院生としてのこの一年間は、多くの新鮮な経験を積むことができました。」(修了生の言葉より)

## ◎翻訳・通訳技術演習

実際に翻訳や通訳の現場で活躍されている先生の授業が開講されています。「通訳技術演習」の授業では、通訳ブースを使っての実技演習も行います。





## 尾関修治 教授 村尾玲美 准教授

尾関／名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学。東海学園女子短期大学、福井大学教育学部、中部大学国際関係学部を経て2009年より現職。研究テーマは英語教育でのeラーニングと学習管理システム。

村尾／名古屋大学大学院国際開発研究科博士後期課程修了。早稲田大学オープン教育センター助教を経て2010年より現職。専門分野は第二言語習得論で、主な研究テーマは音声言語認識メカニズムの解明。



名古屋大学では学生の英語教育にeラーニングを活用しています。英語高度専門職業人コースでは、eラーニング教材の作成やネットワークを利用した教授法などについても実習することができます。

尾関：ではとりあえず守備範囲をひとことで。僕はコンピュータとネットを利用した英語教育の手法とか教材を開発してます。

村尾：私は第二言語習得に関わる諸要因の因果関係について実証的研究を行っています。尾関先生は趣味と研究が一致しているようですね。

尾関：うーん、いつもコンピュータいじってますからねえ。ハードウェア触るのも好きだし。研究って、他の人の成果に積み上げるという面もありますけど、やっぱり細かいところや一見関係ないところから自分でやってみるといこともよくあるでしょう？そういう意味では趣味と通じますよね。村尾さんはどうなんですか？

村尾：私は子供のころからバイオリンを習っているんですけど、楽器が弾けるようになる過程と言葉を習得する過程って似てると思うんです。バイオリンを練習することが研究のヒントになることも多いですよ。

尾関：趣味がアイデアの源ですか。まじめですねえ。僕はとりあえず面白そうだと思うと自分でいじり出しちゃう方で。料理も一緒。食べさせてもらうより自分で作る方が好き。大学院で勉強するっていうのは、いわば座って出されたものを食べるというよりは、自分で作る側に回るとってことでしょうか？

村尾：音楽なら、聴く側から演奏する側に回るわけですよ。

尾関：どちらにしてもおいしいと思ってもらうこと、いい演奏だと思ってもらうことが目標になるし、少なくともそのことを意識することが大切。

村尾：それが楽しめる人は研究も楽しめるんですよ。